

令和3年2月12日

保健福祉局総務課（582-2403）

## 令和3年度予算案 保健福祉施策の充実

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、ワクチンの接種体制を確保し、迅速に多くの市民への接種を目指すほか、令和2年度に引き続き、検査体制の充実、医療提供体制の確保、介護・障害福祉施設等への支援など、感染拡大防止に向けた様々な取組みを推進します。

また、フレイル対策、先進的介護のさらなる発展、動物愛護の今後のあり方検討など、これまでの取組みをさらに充実させていきます。

### I 令和3年度保健福祉局当初予算案 規模

(単位：千円)

	令和3年度 当初予算案	令和2年度 当初予算	対前年度 増減額
一般会計	165,301,415	161,910,196	3,391,219
国民健康保険 特別会計	98,858,000	101,326,000	▲ 2,468,000
介護保険 特別会計	104,640,000	106,316,000	▲ 1,676,000
後期高齢者医療 特別会計	17,078,000	16,656,000	422,000
食肉センター 特別会計	374,000	340,000	34,000
市立病院機構病院事業債管理 特別会計	3,667,900	3,568,200	99,700
病院事業（企業会計）	771,890	800,680	▲ 28,790
保健福祉局 総計	390,691,205	390,917,076	▲ 225,871

## II 重点的に取り組む主な事業と予算額

### 1 新型コロナウイルス感染症への対策

※新型コロナウイルス関連予算については、令和3年度当初予算と令和2年度2月補正予算の合算数字を掲載しています。

**新型コロナウイルス対策関連予算総額 8,888,660 千円**

#### (1) **新規**新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

6,270,000 千円

新型コロナウイルスワクチンの予防接種について、迅速に多くの市民への接種を目指すため、ワクチン接種体制を確保するとともに、接種事業を実施する。

#### (2) **検査体制の充実**

1,710,000 千円

PCR検査センターの運営や身近な医療機関でのPCR等の検査など、引き続き検査体制の充実を図る。

また、介護・障害者施設に対して対象施設を拡大し、感染症対策と並行したスクリーニング検査を行う。

#### 〔主な事業〕

北九州市 PCR 検査センター運営事業	131,000 千円
新型コロナウイルス感染症 PCR 検査事業	233,000 千円
身近な医療機関での PCR 等検査事業	622,000 千円
介護・障害者施設に対する新型コロナウイルス PCR 検査支援事業	435,000 千円



### (3) 医療提供体制の確保

611,000 千円

陽性患者、疑似症患者の入院受入医療機関や、帰国者・接触者外来開設医療機関に対し、運営経費を補助することで、診療体制の維持・確保に努める。

また、医療機関において感染防止物品が不足した場合に備え、医療用マスク等の備蓄を行うほか、医療従事者がホテルに宿泊する際の費用を一部補助するなど、従事者が安心して従事できるよう支援を行う。

#### 〔主な事業〕

新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援事業 418,000 千円

新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止物品備蓄事業  
193,000 千円



### (4) 介護・障害福祉施設への支援

105,800 千円

介護サービス事業所や障害福祉施設等における感染症対策強化のため、専門家による研修や、施設間の応援職員の派遣体制の確保など、サービスを継続して提供できるよう支援を行う。

#### 〔主な事業〕

介護サービス事業所・障害福祉施設等感染症対策強化事業 31,600 千円

障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業 66,000 千円



## 2 地域福祉・高齢者福祉の推進

- (1) **新規** 先進的介護「北九州モデル」推進事業 64,000千円  
介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の普及を図り、あわせて、感染症対策に資する取組を実施することで、先進的介護の実効性を高める。
- (2) **新規** フレイル対策強化事業 7,700千円  
高齢者の通いの場等において、介護予防の取り組みに加え、地域の健康課題に基づいた健康教育や保健指導を実施することで、疾病予防・重症化予防を図り、フレイル対策を強化する。



- (3) **継続** 新しい介護予防・健康づくり事業 52,500千円

ふくおか健康づくり県民運動と連携し、幅広い年齢層を対象にしたケアトランポリンやスロージョギング等による介護予防や健康づくりを実施する。



### 3 障害福祉の推進

- (1) **新規** **医療的ケア児等コーディネーター事業** 3, 800千円  
保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児とその家族に対して、サービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児とその家族をつなぐため、医療的ケア児コーディネーターを配置する。



- (2) **拡充** **触法障害者支援事業** 2, 000千円  
触法障害者に対して、逮捕・勾留時から速やかに支援を開始するとともに、再犯防止に重要な就労について、コーディネーターによる伴走型支援を実施する。

### 4 健康の維持・向上と地域医療の充実

- (1) **新規** **新しい生活様式に対応した健康診査事業** 21, 500千円  
新型コロナウイルス感染症予防対策のため、定員を設けて実施している集団検診について、市民の利便性向上、受診率の向上、デジタル化の更なる推進を図るため、リアルタイムで会場ごとの空き状況を見ながらインターネット及び電話で予約受付を行う業務を民間委託するもの。

- (2) **新規** **「とびうめ@きたきゅう」庁内活用推進事業** 1, 000千円  
市民サービスの向上や業務の効率化を図るため、医療情報等を共有する診療情報ネットワーク「とびうめ@きたきゅう」を庁内の関係課が閲覧できる環境を整備する。



## 5 保健・衛生管理体制の充実

### (1) **新規** 動物の愛護及び管理に関する今後のあり方の検討

5,000千円

致死処分ゼロを目指した取組みを進める中で新たに発生した課題に対応し、持続可能な対策を探るため、センターのあり方も含め、今後のあり方を検討する。



### (2) **新規** 食肉センターの老朽化度調査及び今後の方針の検討

18,000千円

老朽化が進んでいる食肉センターについて、施設、機器設備等の劣化度調査を行い、再整備もしくは長寿命化の計画を策定することで、施設整備や運営の今後のあり方を検討するもの。

## 令和3年度国民健康保険特別会計予算（案）

### 1 被保険者数の現状

被保険者数	令和3年度予算	令和2年度予算	令和元年度予算
一般	193,353人 ▲0.6%	194,605人 ▲2.8%	200,244人 ▲3.9%
退職	0人 —	0人 ▲100.0%	310人 ▲70.0%

※下段は対前年度伸び率

### 2 令和3年度予算（案）の概要

新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等を反映し、1人当たりの保険給付費は減少する見込みであり、県の納付金算定においても、本市の納付金は減額となった。

後期高齢者制度への移行等による被保険者数の減及び保険給付費と納付金の減により、予算総額は前年度よりも減少している。

予算総額は989億円で前年度より24億円減少し、繰入金は106億円で前年度とほぼ同額である。

#### (1) 予算総額 (単位：千円)

項目	R3予算(A)	R2予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
歳入・歳出総額	98,858,000	101,326,000	▲2,468,000	▲2.4%

#### (2) 主な歳入 (単位：千円)

項目	R3予算(A)	R2予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
保険料	15,847,530	15,571,288	+276,242	+1.8%
国・県支出金	71,724,460	73,459,337	▲1,734,877	▲2.4%
一般会計繰入金	10,600,000	10,583,000	+17,000	+0.2%

#### (3) 主な歳出 (単位：千円)

項目	R3予算(A)	R2予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
保険給付費	70,785,074	72,290,347	▲1,505,273	▲2.1%
国保事業費納付金	25,436,606	26,323,198	▲886,592	▲3.4%

#### (4) 1人当たり保険料 (単位：円)

項目	R3予算(A)	R2予算(B)	増減(A)-(B)	対前年度比
医療分	55,354	53,452	+1,902	+3.6%
後期高齢者支援金分	20,957	20,692	+265	+1.3%
介護納付金分※	25,683	23,603	+2,080	+8.8%

※40～64歳に限る

## 令和3年度介護保険特別会計予算(案)

### ◆予算総額について

(単位:千円)

		令和3年度予算	令和2年度予算	増減(R3-R2)
予算総額		104,640,000	106,316,000	▲ 1,676,000
主な 歳入 内訳	一般会計繰入金	16,930,980	16,796,135	134,845
	介護保険料	19,146,615	17,689,155	1,457,460
	国県等支出金	67,262,634	68,344,640	▲ 1,082,006
主な 歳出 内訳	保険給付費	96,287,497	98,068,343	▲ 1,780,846
	地域支援事業費	5,461,695	5,448,032	13,663

※ 歳入、歳出内訳は、抜粋した金額であり、予算総額とは一致しない。

◇令和3年度介護保険特別会計は、これまでの保険給付費等の執行状況及び今後の高齢者人口の推移等を踏まえ、策定した第8期介護保険事業計画(令和3~5年度)に基づき、保険給付費等を積算したことにより、前年度から約16億8千万円の減額となっている。

◇保険料の増額及び対象者の増に伴う、低所得者軽減の増等により、市からの一般会計の繰入金は前年度から1億3千万円の増額となっている。

### 健康づくり・介護予防の主な取組み

◇高齢者が年齢に関わりなく、健康で、生涯活躍できるまちを目指し、主体的な健康づくり・介護予防の取組みを継続することで、できるだけ要介護状態にならずに暮らしていけるよう事業を推進する。

◇今後は、「いつもの活動(サロン活動・生涯学習活動等)に運動プラス」を合言葉に、住民主体の通いの場で、きたきゅう体操等の運動習慣の定着を促し、住民の健康づくり意識の向上を図るとともに、仲間と一緒に取り組む介護予防活動を支援する。

#### 【具体的な取組の例】

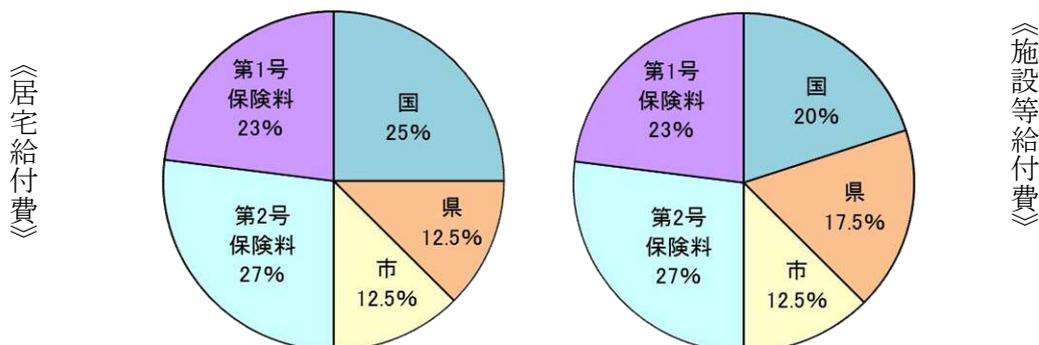
##### <地域リハビリテーション活動の支援(サロンで健康づくり)>

介護予防の取組みを地域で展開するために、高齢者の通いの場に運動・栄養等の専門職を派遣し、フレイル対策として実践的な運動や口腔ケアの取組み等を指導する。また、自主グループ育成のため、プログラム支援と継続確認を拡充する。

##### <地域介護予防活動実践者支援事業>

本市オリジナルの介護予防体操(きたきゅう体操、ひまわり太極拳)や公園の健康遊具を用いた介護予防の普及教室を実施する。それらの体操を普及していく市民(普及員)の育成、普及員と各地域の健康づくり推進員等の交流会等を実施して、介護予防の地域展開を図る。

<参考> 介護保険給付費の費用負担割合



# 第8期介護保険料(令和3~5年度)(案)について

介護保険制度は、負担と給付（サービス）の関係が明確な社会保険方式を採用し、その費用の半分を国、県、市の公費（市費の負担割合は12.5%[一部の事業は19.25%]）、残り半分を40歳以上の方の保険料で負担することが法律で定められている。

このうち、第1号被保険者（65歳以上）の保険料については、市の条例で定めることとなっている。

## ◆ 第1号被保険者数（65歳以上）の見込み



## ◆ 後期高齢者(75歳以上)の見込み



## ◆ 要介護認定者数の見込み



## ◆ 給付費・地域支援事業費の見込み



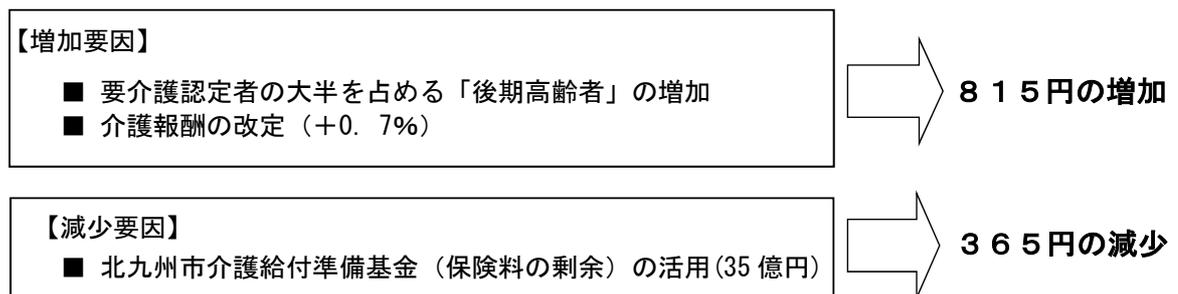
※ 平成30・令和元年度は決算額、令和2年度は予算額。

## ◆ 保険料基準額（月額）



※【参考 第6期：5,700円 ⇒ 第7期：6,090円（+390円）】

## 主な増減要因



## ◆ 保険料段階の設定

本市では、国が示している標準モデル（9段階）を踏まえて、低所得者層に最大限配慮した料率とするとともに、高所得者層の負担が過重なものにならないよう全体のバランスを考慮して設定している。

第8期の保険料段階は、さらに負担能力に応じたきめ細やかな保険料を設定するために、課税層段階に1段階増設し、「13段階」とする。

### 第8期介護保険料の設定イメージ

#### ◆ 第7期(平成30～令和2年度)の保険料段階

保険料率 ※カッコ内は 公費軽減後	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
		▲0.2	▲0.25	▲0.05		基準額						
	0.5(0.3)	0.7(0.45)	0.75(0.7)	0.9	1.0	1.15	1.2	1.25	1.5	1.75	2.0	2.1
対象 範囲	本人が市民税非課税					本人が市民税課税						
	生活保護受給者等			世帯の中に市民税課税者がいる								
第7期保険料 (月額)	年金収入等 80万円以下	年金収入等 80万円超 120万円以下	年金収入等 120万円超	年金収入等 80万円以下	年金収入等 80万円超	合計所得金額 120万円未満	合計所得金額 120万円以上 160万円未満	合計所得金額 160万円以上 200万円未満	合計所得金額 200万円以上 300万円未満	合計所得金額 300万円以上 400万円未満	合計所得金額 400万円以上 600万円未満	合計所得金額 600万円以上
	約1,830	2,740	約4,270	約5,490	6,090	約7,010	約7,310	約7,620	約9,140	約10,660	12,180	約12,790

#### ◆ 第8期(令和3～令和5年度)の保険料段階

保険料率 ※カッコ内は 公費軽減後	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階
		▲0.2	▲0.25	▲0.05		基準額	増設						
	0.5(0.3)	0.7(0.45)	0.75(0.7)	0.9	1.0	1.1	1.15	1.2	1.25	1.5	1.8	2.05	2.15
対象 範囲	本人が市民税非課税					本人が市民税課税							
	生活保護受給者等			世帯の中に市民税課税者がいる									
第8期保険料 (月額)	年金収入等 80万円以下	年金収入等 80万円超 120万円以下	年金収入等 120万円超	年金収入等 80万円以下	年金収入等 80万円超	合計所得金額 80万円未満	合計所得金額 80万円以上 120万円未満	合計所得金額 120万円以上 160万円未満	合計所得金額 160万円以上 210万円未満	合計所得金額 210万円以上 320万円未満	合計所得金額 320万円以上 400万円未満	合計所得金額 400万円以上 600万円未満	合計所得金額 600万円以上
	約1,970	約2,950	約4,580	約5,890	6,540	約7,200	約7,530	約7,850	約8,180	9,810	約11,780	約13,410	約14,070

■ 第6段階を細分化  
 ・ 新第6段階を増設し、新第7段階との境界所得を「80万円未満」で設定  
 ・ 収入に占める保険料負担を軽減（保険料率1.15⇒1.1）

■ 高所得者層の保険料率引上げ  
 ・ 新第11段階（1.75→1.8）  
 ・ 新第12段階（2.0→2.05）  
 ・ 新第13段階（2.1→2.15）

■ 国の基準に応じた変更  
 ・ 新第9段階と新第10段階の境界所得（200万円→210万円）  
 ・ 新第10段階と新第11段階の境界所得（300万円→320万円）

## 令和3年度後期高齢者医療制度に係る予算(案)

### 1 後期高齢者医療の現状

	令和3年度予算	令和2年度予算	令和元年度予算
被保険者数(本市分)	151,746人 0.5%	150,966人 0.4%	150,310人 2.2%
一人当たり医療給付費(福岡県)	1,101,030円 0.48%	1,095,756円 0.04%	1,095,333円 0.9%

※下段は対前年度伸び率

高齢化の進展に伴い、被保険者数は増加傾向にある。また、令和3年度の一人当たりの医療給付費については、医療の高度化等により増加すると見込まれている。

### 2 後期高齢者医療に係る予算

#### (1) 特別会計

後期高齢者医療は、県内市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が財政運営を行っており、保険料も広域連合が決定する。

##### ① 予算総額

170億7800万円 (対前年度比4億2,200万円の増)

主な増加項目は、保険料負担金(2億7千万円増)、保険基盤安定負担金(1億1千万円増)。

##### ② 保険料

保険料の改定は2年に1度のため、令和3年度の保険料は前年度と同様である。

一人当たり 保険料 (年額)	R2・3年度	H30・R元年度	増減
	82,509円	79,083円	3,426円

##### ③ 一般会計繰入金

低所得者等の保険料を軽減するための「保険基盤安定負担金」が1.1億円増加し、「事務費繰入金」が0.3億円増となる。

	R3年度	R2年度	増減
保険基盤安定繰入金	35.8億円	34.7億円	1.1億円
事務費繰入金	8.5億円	8.2億円	0.3億円

#### (2) 一般会計

後期高齢者の医療給付費については、市町村が12分の1を負担することとなっている。

被保険者の増加による医療給付費の伸びにより、対前年度1.6億円の増加となる。

後期高齢者医療義務	R3年度	R2年度	増減
	140.1億円	138.5億円	1.6億円

### 3 令和3年度制度改正について

保険料軽減特例が段階的に見直され、令和3年度より本則となる(均等割の軽減7.75割→7割)。

## 掲載事業 担当課一覧

事業名	担当課	電話番号
<b>1 新型コロナウイルス感染症への対策</b>		
(1) <b>新</b> 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(2) <b>検査体制の充実</b>		
<b>継</b> 北九州市PCR検査センター運営事業	感染症医療政策課	093-582-2430
<b>継</b> 新型コロナウイルス感染症PCR検査事業	感染症医療政策課	093-582-2430
<b>継</b> 身近な医療機関でのPCR等検査事業	感染症医療政策課	093-582-2430
<b>継</b> 介護・障害者施設に対する新型コロナウイルスPCR検査支援事業	介護保険課	093-582-2771
	障害者支援課	093-582-2424
(3) <b>医療提供体制の確保</b>		
<b>継</b> 新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援事業	感染症医療政策課	093-582-2430
<b>継</b> 新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止物品備蓄事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(4) <b>介護・障害福祉施設への支援</b>		
<b>継</b> 介護サービス事業所・障害福祉施設等感染症対策強化事業	介護保険課	093-582-2771
	障害者支援課	093-582-2424
<b>継</b> 障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業	障害者支援課	093-582-2424
<b>2 地域福祉・高齢者福祉の推進</b>		
(1) <b>新</b> 先進的介護「北九州モデル」推進事業	先進的介護システム推進室	093-582-2712
(2) <b>新</b> フレイル対策強化事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
(3) <b>継</b> 新しい介護予防・健康づくり事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
<b>3 障害福祉の推進</b>		
(1) <b>新</b> 医療的ケア児等コーディネーター事業	障害者支援課	093-582-2424
(2) <b>拡</b> 触法障害者支援事業	障害者支援課	093-582-2424
<b>4 健康の維持・向上と地域医療の充実</b>		
(1) <b>新</b> 新しい生活様式に対応した健康診査事業	健康推進課	093-582-2018
(2) <b>新</b> 「とびうめ@きたきゅう」庁内活用推進事業	地域医療課	093-582-2678
<b>5 保健・衛生管理体制の充実</b>		
(1) <b>新</b> 動物の愛護及び管理に関する今後のあり方の検討	動物愛護センター	093-581-1800
(2) <b>新</b> 食肉センターの老朽化度調査及び今後の方針の検討	食肉センター	093-521-0172
<b>特別会計・企業会計</b>		
国民健康保険特別会計	保険年金課	093-582-2415
介護保険特別会計	介護保険課	093-582-2771
後期高齢者医療特別会計	保険年金課	093-582-2415
食肉センター特別会計	食肉センター	093-521-0172
市立病院機構病院事業債管理特別会計	地域医療課	093-582-2678
病院事業会計	地域医療課	093-582-2678